



平成 27 年 8 月 31 日

各 位

会 社 名 J Xホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 内田 幸雄
コード番号 5 0 2 0 東証・名証第 1 部
問合せ先 財務 I R 部 I R グループ マネージャー
日暮 達也
(電話番号 03-6275-5009)

当社子会社による英国北海カリーンガス田の開発移行決定について

当社子会社の J X 日鉱日石開発株式会社(社長:三宅 俊作)が100%出資する英国法人 JX Nippon Exploration & Production (U.K.) Limited (社長:中田 賢明、以下、「JXNEPUK」)は、約34%の権益を保有する英国北海の22/25a鉱区に位置するカリーンガス田につきまして、パートナーである Maersk Oil社(オペレーター)およびBritoil (BP)社とともに開発移行を決定し、その開発計画について英国政府機関である石油・ガス公社(OGA)の承認を得ましたので、お知らせいたします。

カリーンガス田は、当社を含むパートナーにより2008年に発見された高温高圧下にあるガス田で、可採資源量は原油換算で2億5千万~3億バレル(コンデンセート分を含む)と算定されております。英国北海においては、過去10年間に発見された最大のガス田であり、開発移行に至ったガス田としては1990年以降最大の規模となります。

カリーンガス田は、同じく英国北海において開発中のマリナー油田とともに、当社の中長期の生産量を支える大型投資案件の一つであり、2019年の生産開始に向けて着実に開発作業を進めてまいります。

なお、本件による平成28年3月期連結業績への影響は軽微です。

以 上

「添付資料」英国北海カリーンガス田の開発移行決定について

2015年8月31日

各 位

JX 日鉱日石開発株式会社

英国北海カリーンガス田の開発移行決定について

当社（社長：三宅 俊作）が100%出資する英国法人 JX Nippon Exploration & Production (U. K.) Limited（社長：中田 賢明、以下、「JXNEPUK」）は、約34%の権益を保有する英国北海の22/25a 鉱区に位置するカリーンガス田につきまして、パートナーである Maersk Oil 社（オペレーター）および Britoil (BP) 社とともに開発移行を決定し、その開発計画について英国政府機関である石油・ガス公社 (OGA) の承認を得ましたので、お知らせいたします。

カリーンガス田は、当社を含むパートナーにより2008年に発見された高温高圧下にあるガス田で、可採資源量は原油換算で2億5千万～3億バレル（コンデンセート分を含む）と算定されております。英国北海においては、過去10年間に発見された最大のガス田であり、開発移行に至ったガス田としては1990年以降最大の規模となります。

生産開始は2019年を予定しており、約13年に亘る生産が見込まれております。2020年から2021年にかけて生産量のピークに至り（同ガス田のピーク生産量は原油換算で日量6～9万バレル）、その生産量は英国におけるガス消費量の5%程度に相当するものと見込まれます。

カリーンガス田とその周辺エリアは、本年、英国政府が導入した高温高圧油ガス田に対する優遇税制の初の指定案件となっており、良好な経済性が見込まれます。

カリーンガス田は、同じく英国北海において開発中のマリナー油田とともに、当社の中長期の生産量を支える大型投資案件の一つであり、2019年の生産開始に向けて着実に開発作業を進めてまいります。

以 上

【添付】

＜パートナー構成＞

パートナー	権益比率
Maersk Oil North Sea Limited(オペレーター)	49.9873%
JX Nippon Exploration and Production (U.K.) Limited	34.0127%
Britoil Limited (BP)	16%

＜JX Nippon Exploration and Production (U.K.) Limited 概要＞

- (1)社 長：中田 賢明
- (2)株 主：JX 日鉱日石開発株式会社 100%
- (3)資本金：103 億円
- (4)設 立：1996 年 12 月 2 日

